



こんにちは **日本共産党**

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

学校図書館を整備し、子どもたちの豊かな成長発展を

私は3月議会で、学校図書館の問題について一般質問を行いました。

蔵書数は標準を上回るが、文学に偏っている

学校図書館の蔵書数の基準である「学校図書標準」に照らして、日野市は、学校によって多い少ないはあるものの全体的には学校図書標準を上回っています。

しかし、分野ごとの比率は、全国学校図書館協議会の「標準配分比率」に照らして、文学の比率が1.5～2倍近い一方、歴史、社会科学、自然科学などの比率が少ないことがわかりました。

つまり、日野市は本の数は多いが、蔵書

には偏りがあり、児童生徒が様々な課題について調べる学習のための資料は十分な点がみられるということです。

このような事態になっているのは、日野市の学校図書館に明文化された「選定の基準」がないためです。

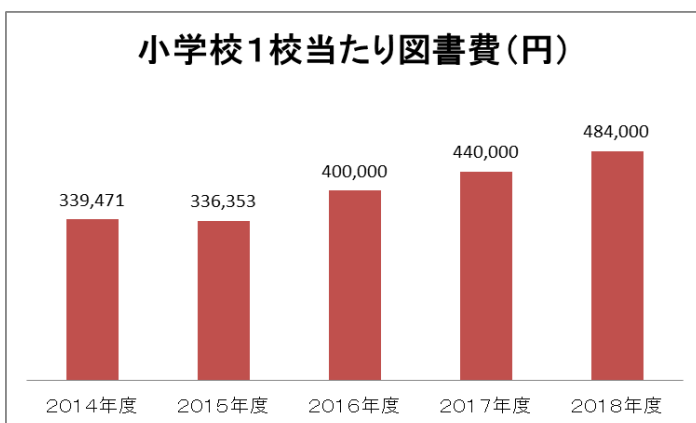
選定基準がないと、何十年も前の図鑑がそのまま置かれているといったことも起きてしまいます。

早急に選定基準を作るよう求めました。

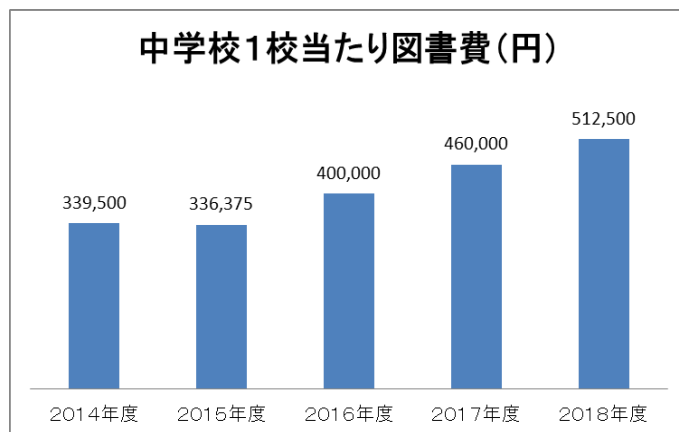
図書購入予算は年々増額されている

図書購入のための新年度予算は、小学校では1校当たり48.4万円、中学校では約51.3万円。第3次子ども読書推進計画が始まった2015年から毎年増えています。

小学校1校当たり図書費(円)



中学校1校当たり図書費(円)



有資格者の学校司書配置の方向へ

学校図書館の運営に携わるのが「学校司書」です。都内ではほとんどの区市で司書や司書教諭の資格を持った学校図書館を配置しています。しかし、日野市はいまだに配置していません。

日本共産党市議団が視察した杉並区の小学校では、学校司書と先生が協力して授業や教材を作り、1年生から6年生まで系統的に学校図書館の使い方を教えていました。

このようにわからないことを調べていくすべを学び、「わかった！」という経験を積んでいくことは、子どもたちの学習意欲をふくらませ、子どもたちの持つ能力を花開かせていきます。

日野市でも学校司書を配置すべきと求めると、教育部長は「今後は有償ボランティアではなく、学校図書館法第6条にあるように、学校に専ら学校図書館の職務に従事する職員を任用する必要がある」と答弁し

ました。

これまで、「日野市版学校司書」といった不明確な形だったものが、「学校図書館法第6条に定められた」学校司書と明確な形になりました。

また、大坪市長は「当面は既存の資格である司書資格であるとか司書教諭の資格を持った方々を中心に組み立てていく」と、有資格者を配置する方向も明確にしました。

学校司書には児童生徒、教員に対する直接的・間接的支援、教育指導への支援が求められています。そのための、専門的な知識とノウハウを持つ学校司書には、継続的・系統的に運営にあたることのできる体制や処遇を保障することが不可欠です。

日本共産党市議団は、引き続き、専任・専門・正規の学校司書の配置を求めてがんばります。

*学校図書館法（学校司書）第六条

学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（次項において「学校司書」という。）を置くよう努めなければならない。

畑だより・・・

エンドウ豆は順調、風で倒れないようヒモを渡しました
右はブルーベリーの花 スズランのような花が咲きます

